

海外監査の基本

— 成果の上がる海外子会社監査のプロセスと着眼点を平易に解説 —

- 日時 ● 2017年11月21日(火) 10:00~17:00 <12:00-13:00 昼食・休憩>
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 吉田 邦雄氏 株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 内部監査室部長

●プログラム●

【ご経歴】

中央大学法学部卒業、富士ゼロックス(株)入社。法務/コンプライアンス、経理、企画、資材畑を歩み生産企画部長、1995年経営監査部マネジャー(部長)、この期間、長野ゼロックス(株)監査役などを兼任、2007年4月より移籍、(株)ポーラ・オルビス HD 内部監査室部長。

法務/コンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント、経営監査、不正調査、海外子会社監査、東証上場審査対応、J-SOX実務対応、持株会社監査、事業計画監査、海外 M&A 買収後監査、IT ガバナンス監査、監査の品質評価プログラム、BCP 対応、CSR/CSV 監査研究等 20 年以上実務専門家として監査/不正調査現場の第一線に従事。

日本内部監査協会「2003~2017 年度実務演習」「監査役監査研究会 2005 年 2 月・3 月例会」各講師及び「2006~2017 年度 内部監査士認定講習会」講師、経営倫理実践研究センター (BERC) 上席研究員、企業研究会「これからの経営監査を考える会」運営幹事 また、神戸大学大学院(経営学研究科)等大学院、日本公認会計士協会、日本監査役協会、民間大手企業、財務省を始めとする中央官庁等において講演、コンサルティング、執筆活動も行っている。

(株) 経営監査研究所取締役社長。

《論文・著書》2004 年『富士ゼロックスの倫理・コンプライアンス監査』東洋経済新報社発行、2006 年『経営監査機能強化とグループ会社監査体制の確立』企業研究会研究叢書 No. 133 分担執筆、2006 年『月刊監査役 8 月号』及び『日経情報ストラテジー 9 月号』 “日本版 SOX 法対応に関する緊急提言” 共同執筆、2012 年 BERC 編『実践！コンプライアンス上級編』への協力執筆 PHP エディターズグループ発行、2014 年 BERC 季刊誌『経営倫理』”統合報告の戦略的意義”寄稿、2015 年『月刊監査研究 8 月号』 “経営監査の高付加価値化” <CSV と経営監査>発表、2017 年『月刊監査研究 4 月号』 “経営監査から見た不正防止への考察” 他 多数。

【開催に当たり — 吉田講師からのメッセージ】

本研修セミナーは、海外子会社監査をベースとしたプロ監査人へのスキルアップ講座の位置付けにあります

昨今の連結経営時代の下、分権化が徹底されればされるほど、経営トップは事実上全権把握が困難な状況となります。従って、このような状況下で、最も高いといわれる海外不正リスクが具現化してまいりますと経営トップの責任追及/辞任が現実化しますので、これからは企業集団としての不祥事未然防止こそ、経営トップそして内部監査人が最も関心を持たねばなりません。また、会社法上の企業集団内部統制はグループ経営戦略上強化が求められており、経営戦略の視点からも、効果的なグループ子会社監査が不可欠となりつつあります。

従って、企業集団としてグループ業績向上に貢献する経営監査の必要が叫ばれる中、本研修では、プロ監査人に必要な海外子会社監査の着眼点や留意点を分かりやすくご紹介いたします。

成果の上がる海外子会社監査のプロセスと留意点中心に解説すると共に監査ノウハウや監査事例迄詳細にわたりご紹介いたしますので、皆様の実務に必ずお役立ちできるものと確信いたします。

なお、今回レジュメとして提供する「基本的な監査チェックリスト」については、資料提供にとどまらず、実務上、監査頻度の高い海外子会社監査事例向けに抽出して、各領域毎に“実戦的”な「監査上の重要ポイント」をご紹介する予定です。この機会に内部監査部門の方々の積極的ご参加をお薦め致します。

●参加要領●

●受講料：1名(資料・昼食費含む)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

171677-0209	2017	11/21	海外監査の基本
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			

★弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03. 監査」

10:00

1. プロの監査部長 / 監査人が先ず学ばねばならないこと

- ・IIA「内部監査の定義」「国際基準」「倫理綱要」
- ・内部監査の基本的役割

2. リスクアプローチによる海外監査計画の策定

- ・定性的アプローチと定量的アプローチ
- ・リスクの評価尺度、評価方法およびリスクマップ

3. 海外子会社監査の留意点

- ・海外関係会社の進出形態別監査
- ・海外子会社監査のプロセスと留意点
- ・海外コンプライアンス監査の留意点
- ・リスクの高い海外子会社 -監査指摘事項事例-
- ・チェックリスト基準、書面監査および深掘監査

12:00
昼食
休憩

13:00

4. 基本的な海外子会社監査チェックリストと着眼点

- ・棚卸資産管理、購買・外注管理、販売管理、人事・労務管理
- ・個人情報管理、情報システム管理、固定資産管理、物流管理
- ・研究開発管理、製造管理、経理、コンプライアンス、孫会社管理他

5. プロの監査部長 (CAE) としての役割

- ・海外監査上の経営トップ / 役員との人間関係づくり
- ・海外監査上の非常事態発生への対応
- ・海外監査に必要な優秀な監査資源確保および人材育成
- ・海外不正の未然防止と経営トップの期待
- ・海外不祥事に関する経営戦略と新 ERM との融合

グループディスカッション型の意見交換 —適宜—

17:00

* 内容は若干変更する場合があります。予めご承知おきます。

配布参考資料 ～上級者向け詳細資料:必要の都度一部引用し紹介～

- ◆海外子会社監査の業務フローチャート —中国子会社ケース—
- ◆中国子会社監査事例の紹介
- ◆中国子会社監査チェックリスト
—保税取引、増値税発票、中国契約書、贈収賄罪、中国不正の特徴等—
- ◆海外子会社監査のキーポイント
- ◆外国贈賄罪 —米国、英国、中国、香港、ロシア、インド、インドネシア、ベトナム—
- ◆経営監査ベンチマーク